

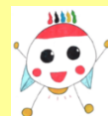


高槻だより



- ・あいさつで心通わす
- ・全力を出し切ってがんばる
- ・お互いを支える思いやりをもつ
- ・自分の友だちの命を守る

子ども



子どもにとって「学んでよかった」学校 保護者、地域にとって「預けてよかった」学校。信頼のおける学校をめざして。

前期後半、後期に向けて…様々な行事に成長が見られます。

後期が始まり、様々な行事に、子どもたちは挑戦、経験しています。

5年生は、2(火)、3日(水)で、一泊二日の自然教室に行きました。今年は昨年度までと場所が変わって、かぐめよし少年自然の家でした。祝町小学校の5年生児童と一緒に活動し、助け合い、ともに学んだ2日間でした。



この自然教室で、子どもたちは、自分が何をしたらよいか、どう行動したらよいか、「自分で考え自分で動く」を目標に活動、体験を行いました。困っている子には進んで声をかけ、励まし、次への行動に見通しをもって動いている子どもたちを見聞きして感心しました。

到着式では、担任から「素晴らしく成長した皆さんを見てうれしく思いました。」と、話をしてもらいました。子どもたちの感想では「とても楽しく充実した2日間だった」「祝町小の人と仲良くなった」「2日間は短い。もっといたかった」など、楽しかった様子がうかがえました。

3(水)、4日(木)は、3、4年生が、「キタQアーティスト授業」を体験しました。2日間にわけて、聞こえた音や想像した文字、場所などから、感じたことを表現する自己創造力を培う学習体験です。昨年度は、5、6年生が体験しました。

北九州芸術劇場の劇団員さんが来校して行いました。3年生は、初めに聞こえてくる音を擬音で表現した後、写真から様子を想像し、最後は物語を作りました。4年生は、グループで台本を作って、劇をしました。



子どもたちは「学校の教室で、静かに周りの音に耳を澄ませることはなかったので、楽しかった。」「ぎゃおーんとか、ばりーんとか、音を文字にしたらおもしろかった」「友達が作ったお話が楽しかった」「またやってみたい」など、日ごろの学習とは違った経験や体験は、新鮮で大いに興味をもったようです。



シェイクアウト訓練—自分の身は自分で守る—

台風15号の接近に伴い、保護者の皆様にはご対応等ありがとうございました。9月半ばでも続く暑さや、台風発生など、自然の変化変動に驚く日々です。

さて、毎年、1923年(大正12年)9月1日に発生した、関東大震災にちなみ、9月1日を防災の日とし、全国で特に地震に備えた防災訓練が行われます。

北九州市の小・中学校でも、この防災の日にちなみ、地震に備えたシェイクアウト訓練を行います。本校では、5日(金)に訓練を行いました。

地震をはじめとした自然災害は、いつ、どこで、どのように起こるかわかりません。自然災害の発生を防ぐことはできませんので、日ごろからの備えによって、その被害をできる限り小さくすることはできます。

そのとき、自分の命を守るために、どのような行動をとったらいいかについて、

- ・頭をしっかりと守る。机の下、壁際に沿って身を小さくしてしゃがむ。
- ・屋内であれば、逃げるための道の確保を(地震の際、ドアや窓を開ける)
- ・揺れが収まるまで動かない。揺れが収まってから避難を・・・

など、動画や資料を使って訓練後、学級で指導しました。

ご家庭でも、いざという時の避難場所や連絡方法など、日ごろからお子さんと確認しておいていただけると安心です。よろしくお願いします。

